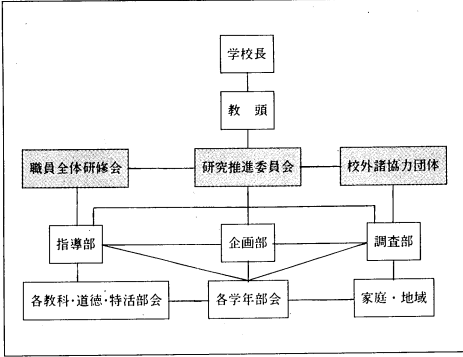


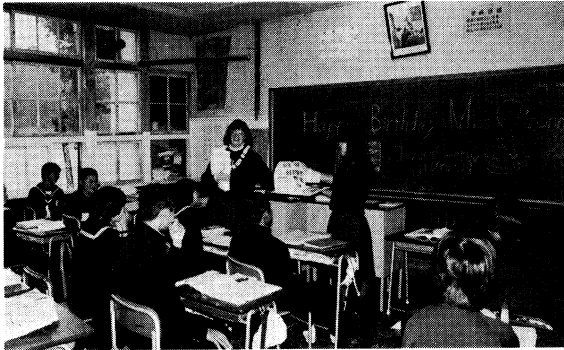
表1 研究組織



(三) 現代社会の情勢
近年、国際化時代と言われ、海外との交流が年毎に増え、外国の文化に直接触れる機会が多くなってきている。また、世界情勢はマスコミ等のめざましい発達により瞬時にして伝えられ、その変化についていくのがなかなか容

(二) 本校の生徒の実態
農村特有の素朴さがある反面、積極性に乏しく、自主性・自立性に欠け、視野が狭い。また、物質文明に恵まれすぎているためか、勤労意欲や物を大切にしている心が欠如している。

このことは、学校教育の場でお互いに人間として尊重し合い、人権を重んずることのできる生徒の育成をめざすものであり、国際理解教育を通して育成をめざす理想の人間像と同一である。



Happy Birthday!
デュダダ・オコナーさん(白河市英語指導主事助手)の誕生日を祝って

易でなくなっている。そういう時に当たり、国際社会を正しく認識し、世界の国々と協調し合い、世界の人々から信頼と尊敬を得られる国民を育成することは重要なことである。

三、研究の視点
国際社会において信頼され、尊敬される国民的資質をいっそう高めるには、高い道徳性を身につけ、優れた文化創造の能力を持ち、個性豊かな日本人の育成が必要であろう。そのためには、自己を深く見つめさせたり、生活意識を高めさせたりすることを基本とし、その発展として国際理解の教育をする

表2 研究計画(1年次)

月	研究段階	内容
4	○学校課題研究計画の樹立 ○検証構想の検討	○研究体制の確立 ○実態把握
5	○第1回校内研修会(5/9) ○各部研究計画の検討	○第2回調査・検査 ○学校訪問(5/23) ○文献研究(年間を通して行う)
6	○第2回校内研修会(第1回授業研究)(6/6) ○第1回授業研究の記録分析、考察	○第2回調査・検査の分析
7	○1学期のまとめと反省	○研究紀要原稿執筆分担
8	○研究資料のまとめ	○カール先生の講話(体験談発表会)(9/1)
9	○第3回校内研修会(第2回授業研究)(9/12) ○研究紀要原稿検討	○第2回授業研究の記録分析、考察 ○NISとの交流(9/19-20)
10	○第4回校内研修会(第3回授業研究)(11/21)	○第3回調査・検査 ○研究公開(10/31)
11	○第5回校内研修会(第4回授業研究)(1/23)	○第4回調査・検査 ○2学期のまとめと反省
12	○第6回校内研修会(本年度のまとめ)	○研究集録の編集
1	○研究集録の作成	○次年度の研究の方向づけ

- ことが大切と考え、次の四つの視点を設定した。
- (1) 他国文化を理解し、尊重する心の育成
 - (2) 人間尊重の育成
 - (3) 平和を愛する心の育成
 - (4) 自国の文化を理解し、他国へ紹介できる生徒の育成
- 四、研究組織(表1)
- 五、研究方法及び内容
- (一) 国際感覚を育成するために、学校教育全体で生徒の国際理解を深める。ア、教科の指導において自国や他国の文化を理解する。イ、道徳の指導において人々の生き方・考え方の尊重、隣人愛、国際親善
- (二) 国際交流の実践活動として、次のことを行う。
ア、他国の人々との交歓会、意見の交換
イ、郷土芸能の発表会
ウ、作品の交流
エ、他国の人々及び他国で生活した人々の講演会
- (三) 国際理解教育に参考になる資料を収集する。
ア、情報、資料等の収集と作成
イ、資料等の効果的活用のかたの研